

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 5月 9日

事業所名 放課後等デイサービス NICO

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	1	学習部屋の確保ができています。	児童の動線がスムーズになるような配置の仕方を考えたい。
	2	職員の配置数は適切である	4	2		児童の年齢や課題などに合わせた配置を心がけている。	送迎時や個別対応時の配置が難しく、全職員で情報の共有は徹底し連携をしっかり行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		3	階段の手すりの取り付け。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		PDCAシートの活用し、日々のミーティングで共有、振り返りを行う。	日々行っている共有の場をもっとより良い意味のある時間にし、利用児童の成長に繋げたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		意見箱を設置	意見箱の活用
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			ホームページに掲載	情報等を共有し、事業所内の見える化を図り安心できる場所になるよう務める。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	3		常に新鮮な業務ができるように外部、関係機関と連携を行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1			コロナ禍で社内の月一研修会が減少しているが、事例検討会や研修等で学び実行出来るように務める。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			3ヶ月毎にアセスメントを行い、常に新情報を把握して取り組みを行う。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			アセスメントツールを活用、必要であれば面談等を行う。	アセスメントツールを利用しているが、もっと良い活用方法はないか全職員で模索し共有する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		朝礼ミーティングで全職員で共有している。	職員のSSTトレーニングのレベルアップを行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			毎月、全職員で1か月の予定作成を行っている。	全職員で児童一人ひとりの特性を把握して、何度も見直し検討する必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3		事前に計画、シミュレーションを行い設定する。	実行後は必ず、反省見直し記録を行い次につなげる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		事前に計画、シミュレーションを行い設定する。	実行後は必ず、反省見直し記録を行い次につなげる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			朝礼ミーティングで全職員で共有している。	祝日、長期休み時のミーティングが難しいので時間の工夫が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		2		翌日の朝礼ミーティングで振り返りを行っているが、反省が生かされるように全職員での共有を徹底する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		全職員で記録を行っている。	適切に記録ができ、支援に繋がられるように記録方法を見直す。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		モニタリングが行われたらすぐに情報を全職員と共有している。	モニタリングの情報を基に計画が妥当なのかの検証を全職員で行う必要がある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2			ガイドラインの周知や共有を徹底する。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				会議の後、全職員に情報を共有して、迅速な見直し対応ができるように努める。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			送迎時の時間等を学校や保護者に確認し、朝礼ミーティングでダブルチェックを行いトラブル回避に努めている。	学校との面談の時間が取れていないのが現状で、保護者の方も一緒に定期的な面談を行い、情報共有ができれば理想です。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	2			保護者だけではなく主治医等とも連絡体制をしっかりと整えていき安心安全に努める。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		担当者会議等で情報を提供し共有している。		保育園や幼稚園、子ども園との情報共有をもう少し深めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	1	前例がない。		支援内容等の情報は提供し、その後の支援に繋げて頂きたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	1	機会があれば積極的に参加している。		助言や研修を受けて、支援に繋げるよう努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	2			児童館との繋がりはあるが交流はできていない。地域活動等にも参加を考える。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	4			積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		送迎の際や連絡帳を用いて行っている。		積極的に会報やホームページを活用していきたいと考えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	3			ペアレント・トレーニングというより、相談を受けた時だけの助言だったりするので、計画的にトレーニングができればと考える。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		1	入所時に説明を行っている。		丁寧な説明を心がける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	1			sメールや電話等のご相談にも対応させて頂いているが、相談しやすい環境をもっと整える必要がある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		0	6			開催にあたっては、アンケート等を行い慎重に計画を立てる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1				迅速かつ適切な対応を心がける。 安心して頂けるように間口を広げ環境を整える。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6					定期的に、会報やホームページの更新で発信して行けるよう努める。
	35	個人情報に十分注意している	6			特定の場所にて保管		今まで以上の注意や鍵の扱いを怠らない。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6					改めて文章化し、わかりやすくお伝えするように心がける。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	5			年間行事として取り入れていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		事業所で利用しているマニュアルを会報等でお知らせする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3		訓練を全ての事業所で日程を統一し、年間の予定に入れ込んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			全職員に研修を行い、適切に対応していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		身体拘束が必要な場合の計画を慎重に立てて保護者の方に説明、報告を徹底する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		保護者と情報共有を行い、緊急時に適切な対応が出来るように全職員で共有を徹底する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット事例集を作成しミーティング等で共有する。	全職員で事例検討会を開催する。